

森村川村ゼミ

5月17日分議事録

記入者：豊島典明

司会者：元島瑞貴

発表者：鯨井留実、小川慶太、小林由拓

議題

「ポスト」モダニズムかポスト「モダニズム」か

発表班の考察

ポスト「モダニズム」である。われわれは今なおモダニズムの描く痕跡の中にいる。

[理由]

ともに資本主義の「成長」に支えられている

ポストモダニズムはモダニズムに対する異議。よって、モダニズムの痕跡を下地に展開される。

地球が有限であるためにモダニズムが発展した形態としてのポスト「モダニズム」

議論の展開

◇質問

ポストモダニズムは新しい何かなのか。区別されるべきなのか。

アンチ・モダニズムの時代だった頃のポストモダニズムと現代は違うのか。

モダニズムもポストモダニズムの一部になってしまったのか。

ポストモダニズムの次には何が来るのか。

◆ポストモダニズム、モダニズムという「くくり」は後からふりかえって見てからこそ生まれた定義ではないか。

◆「ポストモダニズム」ではないか

「ポスト」モダニズム・・・モダニズムの後＝モダニズムではない

ポスト「モダニズム」・・・モダニズムが強調されすぎている

→反モダニズムでも良いのではないか

◆「ポスト」モダニズムはモダニズムに要因（経済など）が重なってできた別のもの  
ポスト「モダニズム」はそれらの要因を受けたにもかかわらず、モダニズムと  
変わらないもの

◆このような議論を展開している上で作者はモダニストである

◆ポストは alternative という意味ではない。何かを受け継ぐもの。

◆ポストに大きな意味は無い。時間の問題。（モダンの後に来たから）

◇質問

モダンが終わったのか。

◆批判をしている時点でモダニズムの一部なのではないか

◆80年代は、ポストモダンに対する批判に対し、それを否定する事もできず、ただ

その議論に関与しないという方法をとるしかなかった。

#### 記入者の考察

「ポスト」モダニズムか、ポスト「モダニズム」か。それは、何を基準にするかによって変わってしまうだろう。例えばポストモダニズムの傾向や、主義を考えた時に、それはモダニズムに対して異質なものである。故に「ポスト」モダニズムと言えるだろう。逆に、ポストモダニズムはモダニズムに対するアンチから生まれたものであり、その点ではモダニズムから続くもの、ポスト「モダニズム」であると言えるだろう。

議論の展開から、「ポスト」は安易なネーミングだったと言う事が見えてくる。それと同時にその定義の難しさに我々は頭を悩まされるのである。